

有限会社栄晃

平成30年度 環境報告書

対象期間 : 平成30年4月1日 ~ 平成31年3月31日



発行 令和元年6月30日

目 次

ごあいさつ

環境方針

I 公表事項

1. 法人に関する基礎情報 5
2. 事業計画の概要 5
3. 産業廃棄物収集運搬・処分業
特別産業廃棄物収集運搬・処分業の許可 6
4. 運搬施設・処理施設に関する事項 7
5. 事業場ごとの産業廃棄物の処理工程図 1 1
6. 産業廃棄物の一連の処理の行程 1 2
7. 産業廃棄物の受入量、運搬量、処分量 1 3
8. 産業廃棄物処理施設の維持管理状況 1 4
9. 収集運搬料金の提示方法 1 6
- 1 0. 業務を所掌する組織・人員配置 1 6
- 1 1. 事業場の公開の有無・公開頻度 1 6

II 環境活動報告

1. 環境目標・実績 1 7
2. 環境活動計画の取組結果 1 7
3. 第三者認証 1 8
4. 環境関連法規等の遵守状況の確認
及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無 1 8

1. ごあいさつ

当社は、昭和55年4月に設立、地場における一般廃棄物の収集運搬事業及び産業廃棄物の収集運搬・中間処理事業を展開してきました。平成19年には廃棄物のリサイクル促進のニーズを先取りし、RPF製造を主としたリサイクルセンターを建設、多様な機能を併せ持つ複合型の廃棄物処理業者としての再スタートを切りました。また、平成25年には老朽化した旧焼却炉を刷新し、新たな焼却炉を建設しました。

当社は、今後も廃棄物の収集・運搬及び中間処理に関わる全ての事業活動を通じて環境保全と汚染の予防に取り組み、持続可能な経済発展と地球環境とが調和する循環型社会の形成に貢献して参る所存です。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

令和元年6月30日

有限会社栄晃

代表取締役 榑原 隆 信

環境方針

私達は、廃棄物の収集・運搬及び中間処理に関わる全ての事業活動を通じて環境保全と汚染の予防に取り組み、持続可能な経済発展と地球環境とが調和する循環型社会の形成に貢献します。

1. リサイクル促進と大気汚染防止への取り組み

私達は、廃棄物の分別徹底によるリサイクル促進に努め、また焼却施設の適正運転により大気汚染の防止に努めます。

2. 廃棄物の安全な収集・運搬

私達は、廃棄物の収集・運搬及び中間処理に当たり、安全性の向上に関する課題に一致団結して取り組みます。

3. 環境に関連する法的及びその他の要求事項の順守

私達は、環境関連法や各種規制を順守します。更に、行政の政策や地域社会の環境活動に積極的に対応するとともに、独自の環境基準を設定・順守します。

4. 省資源への取り組み

私達は、全ての事業活動において使用する天然資源の使用の効率化に取り組むことにより、省資源促進に貢献します。

5. 情報公開と環境教育

私達は、全ての利害関係者に対して環境に関連する情報の公開及びコミュニケーションを積極的に行います。また、社内での環境教育への注力はもとより、社外関連企業に対しても、環境意識向上のための啓蒙活動を積極的に推進します。

6. 環境目的・環境目標の設定

私たちは、本方針を実現するために、極力計数化・計量化した環境目的・環境目標を設定・運用し、定期的に見直すとともに、継続的改善を推進します。

制定 平成19年6月25日

有限会社榮晃

代表取締役 榊 原 隆 信

I 公表事項

1. 法人に関する基礎情報

名称	有限会社栄晃
所在地	本店・リサイクルセンター： 広島県呉市川尻町才野谷624-1 Tel：0823-87-0538 焼却施設：広島県呉市川尻町才ノ谷5138-3
設立年月日	昭和53年7月31日
資本金・出資金	5,000,000円
代表者	代表取締役 榊原隆信（平成14年3月25日就任） （平成30年6月30日現在）
役員等	代表取締役 榊原隆信 取締役 榊原裕子 榊原貢 山田光雄 監査役 榊原早苗
事業の内容等	昭和53年7月 さかき興業有限会社として設立 昭和55年4月 有限会社栄晃に商号変更、現在に至る 平成14年 産業廃棄物の焼却炉を完成 平成19年 産業廃棄物の破碎、圧縮固化によるRPFの製造 を主としたリサイクルセンターを建設 平成20年 ISO14001認証を取得 平成25年 焼却炉を更新 乾溜ガス化炉の新設 太陽光発電を開始

2. 事業計画の概要

(1) 一般廃棄物の収集運搬業務

呉市からの委託を受け、一般家庭又は事業所から排出される廃棄物を収集し、市の処分場に搬入する。

(2) 産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬業務

広島県内の事業所から排出される産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬を行う。

(3) 産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の選別・中間処理業務

搬入された産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の選別・中間処理（焼却、破碎及び圧縮固化）業務を行う。

4. 運搬施設・処理施設に関する事項（令和元年6月30日現在）

(1) 運搬施設

	車輛形式	積載量(kg)	積載可能寸法 長さ×幅×高さ (mm)	保有 台数
1	塵芥車 (広島 800 せ 1952)	2,000	528×189×237	1
2	塵芥車 (広島 800 す 7396)	2,000	531×188×239	1
3	塵芥車 (広島 800 す 9070)	2,300	574×190×231	1
4	塵芥車 (広島 800 せ 1099)	2,000	531×189×239	1
5	塵芥車 (広島 800 せ 1612)	3,000	516×193×223	1
6	塵芥車 (広島 800 せ 1789)	2000		1
7	脱着装置付コンテナ専用車 (広島 400 ち 5152)	2,000	430×170×195	1
8	脱着装置付コンテナ専用車 (広島 100 す 4463)	3,600	621×220×247	1
9	脱着装置付コンテナ専用車 (福山 100 か 2923)	6,200	788×220×288	1
10	脱着装置付コンテナ専用車 (広島 100 は 4960)	7,900	631×227×252	1
11	脱着装置付コンテナ専用車 (広島 100 き 756)	10,700	909×249×294	1
12	脱着装置付コンテナ専用車 (広島 430 さ 240)	2,000	438×169×197	1
13	脱着装置付コンテナ専用車 (広島 100 は 4422)	7,000	700×227×299	1
14	ダンプ (広島 400 た 8175)	2,000	470×169×199	1
15	ダンプ (広島 400 ん 2017)	3,000	469×169×199	1
16	軽ダンプ (広島 483 あ 5380)	350	339×147×181	1

(2) 低公害車の導入の状況

運搬車の排ガスレベル	台数
全保有台数	12
① 平成12年基準低排出ガス車 良☆	
② 平成12年基準低排出ガス車 優☆☆	
③ 平成12年基準低排出ガス車 超☆☆☆	
④ 平成12年基準超低PM排出ディーゼル車☆☆☆	
⑤ 平成12年基準超低PM排出ディーゼル車☆☆☆☆	1
⑥ 平成17年規制適合車	
⑦ 平成17年基準低排出ガス車 ☆☆☆	
⑧ 平成17年基準低排出ガス車 ☆☆☆☆	
⑨ 平成17年基準低排出ガス重量車 ☆	6
⑩ 平成17年基準低排出ガス重量車 ★	
⑪ 平成21年規制適合車	1

⑫ 平成22年規制適合車	1
--------------	---

運搬車の燃費基準達成状況		台数
全保有台数		12
平成17年度燃費基準達成車	① -	
	② 10%低減レベル	
平成22年度燃費基準達成車	③ -	
	④ 5%低減レベル	
	⑤ 10%低減レベル	
	⑥ 15%低減レベル	
	⑦ 25%低減レベル	
平成27年度燃費基準達成車	⑧ -	1

(3) 処理施設に関する記載内容

施設の種類の	処理能力	処理方式
焼却施設 平成25年9月23日設置 広島県呉市川尻町才之谷 5138番3	12.36 t/日 (24h)	ガス化改質方式
破砕施設 平成19年11月14日設置 広島県呉市川尻町才野谷 624 番 地1外		二軸式破砕
廃プラスチック類	4.75t/8h	
紙くず	2.72t/8h	
木くず	4.16t/8h	
繊維くず	1.09t/8h	
ゴムくず	4.32t/8h	
金属くず	3.07t/8h	
ガラスくず、コンクリートくず及び陶 磁器くず	4.53t/8h	
破砕施設 平成22年1月28日設置 広島県呉市川尻町才野谷 624 番 地1外	100.00t/8h	二軸式破砕

木くず		
圧縮固化 平成 21 年 8 月 1 日設置 広島県呉市川尻町才野谷 624 番地 1 外 廃プラスチック類、紙くず、木くず、 繊維くず	4.32t/8h	RPF 成形

(4) 保管施設に関する記載内容

設置場所	産業廃棄物の種類	面積	保管上限	積み上げることのできる高さ
広島県呉市川尻町 才之谷 5138 番地 3	廃プラスチック類	23 m ²	10 m ³	0.5m
	紙くず			
	木くず	15 m ²	6 m ³	0.5m
	繊維くず			
	ゴムくず	30 m ²	45 m ³	3.0m
広島県呉市川尻町 才之谷 5138 番地 3	金属くず	56 m ²	112 m ³	4.0m
	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	20 m ²	6 m ³	1.0m
	燃え殻、汚泥、廃油、 廃酸、廃アルカリ、 動植物性残さ、動物 系固形不要物	28 m ²	24 m ³	保管容器
広島県呉市川尻町 才之谷 5138 番地 3	廃プラスチック類	30 m ²	45 m ³	3.0m
広島県呉市川尻町 才野谷 624 番地 1 外	紙くず			
	木くず	13 m ²	31 m ³	2.4m
	繊維くず			
広島県呉市川尻町 才野谷 624 番地 1 外	ゴムくず	12 m ²	28 m ³	2.4m
	金属くず			

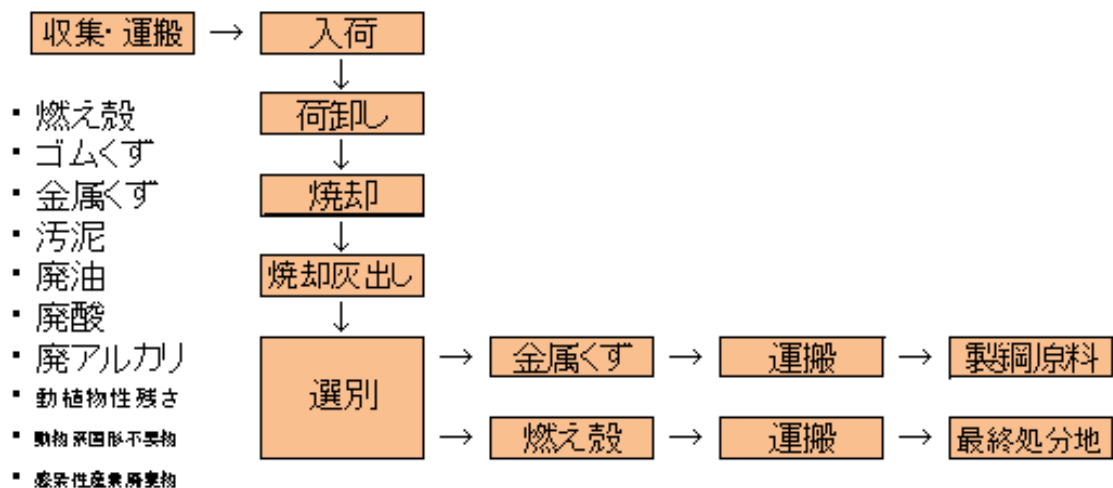
	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	12 m ²	28 m ³	2.4m
		9 m ²	21 m ³	2.4m
広島県呉市川尻町 才野谷 624 番地 1 外	木くず	168.4 m ²	170.8 m ³	1.8m

(5) 産業廃棄物の種類ごとの主な処理方法

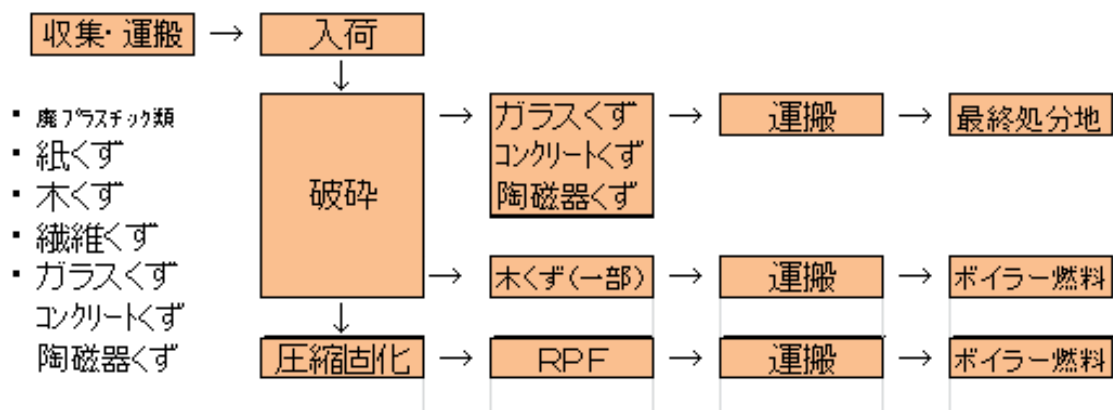
産業廃棄物の種類	主な中間処理方法	主な再資源化方法
燃え殻	焼却	—
ゴムくず	焼却	—
金属くず	破碎	製鋼原料化
汚泥	焼却	—
廃油	焼却	—
廃酸	焼却	—
廃アルカリ	焼却	—
動植物性残さ	焼却	—
動物系固形不要物	焼却	—
感染性産業廃棄物	焼却	—
廃プラスチック類	破碎、圧縮固化	固形燃料化 (RPF)
紙くず	破碎、圧縮固化	固形燃料化 (RPF)
木くず	破碎、圧縮固化	固形燃料化 (RPF)
繊維くず	破碎、圧縮固化	固形燃料化 (RPF)
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	破碎	—

5. 事業場ごとの産業廃棄物の処理工程図

【焼却場】

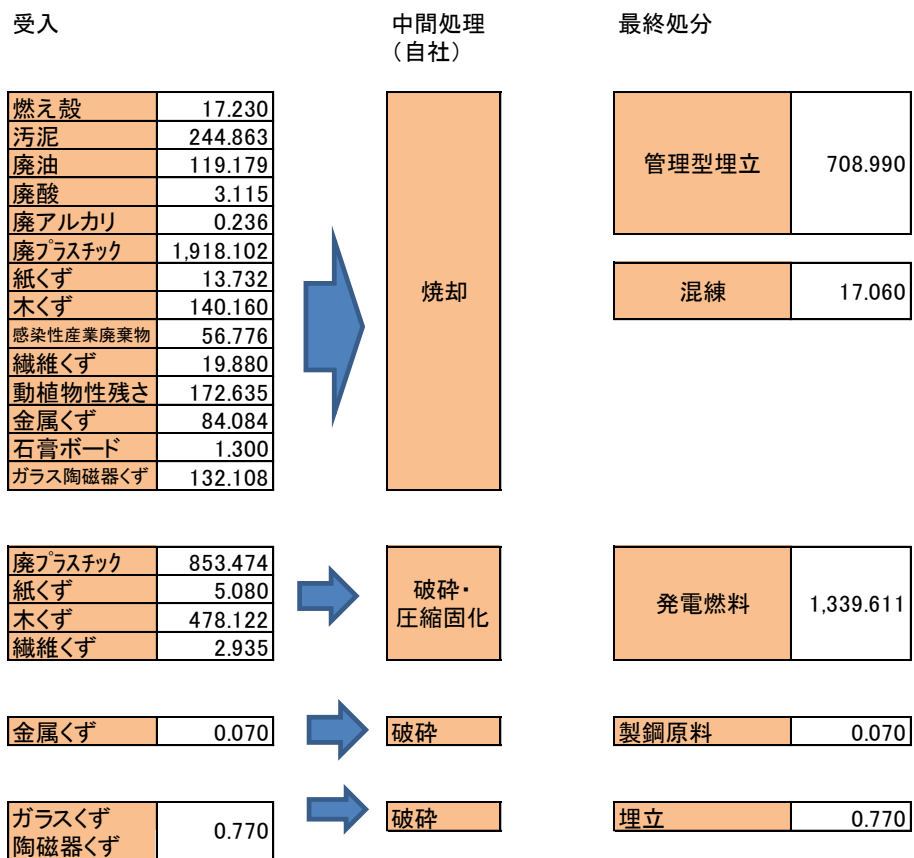


【リサイクルセンター】



6. 産業廃棄物の一連の処理の行程（平成30年4月～平成31年3月）

（単位：t）



7. 産業廃棄物の受入量、運搬量、処分量

(1) 産業廃棄物処分業 平成28年度～平成30年度 年度別実績

(単位:t)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		計		計		計	
燃え殻	焼却		24.675		20.310		17.230
汚泥	焼却		90.550		215.005		244.863
廃油	焼却		146.933		108.967		119.179
廃酸	焼却		3.891		2.126		3.115
廃アルカリ	焼却		0.071		0.556		0.236
廃プラスチック	焼却	1,571.013	2,363.463	1,390.287	2,265.950	1,918.102	2,771.576
	破碎・圧縮固化	792.450		875.663		853.474	
紙くず	焼却	110.430	116.690	6.410	8.220	13.732	18.812
	破碎・圧縮固化	6.260		1.810		5.080	
木くず	焼却	369.540	778.980	224.420	772.233	140.160	618.282
	破碎	409.440		547.813		478.122	
繊維くず	焼却	33.510	36.879	26.530	29.335	19.880	22.815
	破碎・圧縮固化	3.369		2.805		2.935	
動植物性残さ	焼却		213.285		207.780		172.635
ゴムくず	焼却		0.000		3.230		0.000
金属くず	焼却	69.949	75.689	74.208	76.708	84.084	84.154
	破碎	5.740		2.500		0.070	
石膏ボード	焼却		2.030		0.990		1.300
ガラスくず 陶磁器くず	焼却	154.338	155.418	144.017	145.237	132.108	132.878
	破碎	1.080		1.220		0.770	
感染性 産業廃棄物	焼却		57.065		62.434		56.776
コンクリートくず	焼却		2.510		3.810		0.000
計			4,068.129		3,922.891		4,263.851

(2) 産業廃棄物処分業 月別処分実績

①平成30年度

項目	月												計
	1月分	2月分	3月分	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分	10月分	11月分	12月分	
廃プラスチック	91.213	107.298	133.591	124.314	139.220	105.870	204.294	330.453	175.769	177.683	127.841	141.851	1,859.397
木くず	9.040	3.750	4.030	8.260	15.840	9.840	10.880	19.230	14.120	23.820	11.630	9.990	140.430
紙くず	0.790	0.000	1.000	0.980	1.820	0.000	1.910	1.040	2.060	4.220	0.453	1.020	15.293
繊維くず	4.950	1.560	0.090	5.340	0.990	3.210	0.800	1.440	3.080	1.645	1.500	1.090	25.695
ガラス陶磁器くず	10.814	13.144	8.064	11.538	10.648	11.388	7.543	7.401	7.203	13.673	8.708	16.569	126.693
金属くず	7.079	6.582	6.144	5.000	13.060	5.426	3.078	5.174	10.377	3.908	4.106	12.125	82.059
医療系	5.611	5.228	5.631	4.852	5.512	5.408	4.885	5.133	4.602	5.490	4.774	5.764	62.890
感染性	5.255	5.294	5.451	4.354	4.650	5.877	4.424	5.029	4.091	4.742	4.366	4.339	57.872
動植物性残さ	13.238	13.667	22.376	17.761	12.828	15.149	12.340	15.680	12.932	14.850	10.303	13.045	174.169
廃油	5.048	10.766	14.659	9.540	12.477	8.920	3.496	9.365	14.176	8.010	9.208	10.425	116.090
廃酸	0.105	0.235	0.222	0.669	0.095	0.192	0.815	0.290	0.160	0.065	0.115	0.160	3.123
廃アルカリ	0.000	0.000	0.000	0.011	0.005	0.000	0.000	0.000	0.000	0.200	0.019	0.000	0.235
汚泥	6.021	2.179	7.250	17.657	9.066	18.349	13.186	19.648	8.557	57.661	15.492	27.018	202.084
燃え殻	5.620	2.100	3.150	1.550	1.170	3.950	2.300	1.850	0.750	0.900	6.600	0.650	30.590
石膏ボード	0.300	0.000	0.000	0.000	0.000	0.150	0.000	0.030	0.640	0.000	0.140	0.490	1.750
混合廃棄物	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
計	165.084	171.803	211.658	211.826	227.381	193.729	269.951	421.763	258.517	316.867	205.255	244.536	2,898.370
合計	2,898.370												

②平成29年度

項目	月												計
	1月分	2月分	3月分	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分	10月分	11月分	12月分	
廃プラスチック	109.430	125.015	127.026	100.618	110.093	107.824	100.898	115.884	95.260	112.336	128.547	123.832	1,356.763
木くず	31.140	42.790	44.330	46.520	31.850	50.830	19.120	27.550	9.590	9.490	12.520	3.810	329.540
紙くず	0.000	0.000	0.630	0.090	0.000	0.000	0.000	0.040	0.000	0.460	3.220	0.710	5.150
繊維くず	4.650	1.880	4.150	4.080	1.670	4.800	4.070	0.510	2.150	0.570	1.060	1.750	31.340
ガラス陶磁器くず	13.038	8.657	10.289	18.331	19.304	9.857	11.959	9.477	9.918	8.925	9.340	16.271	145.366
金属くず	4.746	4.673	9.095	4.128	6.520	3.411	2.943	6.389	9.101	3.193	9.553	6.078	69.830
医療系	4.464	5.039	5.515	4.283	5.125	5.998	4.551	5.973	4.451	5.239	5.703	5.919	62.260
感染性	4.699	4.235	4.832	4.805	5.330	5.108	5.416	7.220	5.773	5.277	5.183	5.813	63.691
動植物性残さ	13.435	14.267	17.367	15.825	13.631	14.860	25.378	21.942	14.646	13.028	16.699	17.073	198.151
廃油	13.188	14.185	13.340	6.485	4.060	8.683	6.223	13.613	4.732	10.915	11.420	7.749	114.593
廃酸	0.285	0.195	0.115	0.125	0.575	0.095	0.185	0.110	0.145	0.086	0.105	0.210	2.231
廃アルカリ	0.051	0.000	0.000	0.000	0.000	0.264	0.000	0.000	0.000	0.000	0.228	0.042	0.585
汚泥	4.642	2.040	3.555	23.305	33.670	52.147	1.110	71.384	5.835	1.562	7.695	1.842	208.787
燃え殻	10.400	3.900	0.000	0.500	0.300	0.640	3.150	0.300	1.200	2.450	1.800	1.410	26.050
石膏ボード	11.150	0.000	0.140	0.000	0.000	0.000	0.090	0.300	0.000	0.300	0.000	0.000	11.980
混合廃棄物	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
計	225.318	226.876	240.384	229.095	232.128	264.517	185.093	280.692	162.801	173.831	213.073	192.509	2,626.317
合計	2,626.317												

③平成28年度

項目	月												計
	1月分	2月分	3月分	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分	10月分	11月分	12月分	
廃プラスチック	93.991	114.160	132.495	128.152	127.737	133.704	110.160	101.897	114.982	120.951	186.486	125.858	1,471.583
木くず	29.070	19.410	19.370	23.160	34.480	45.240	22.630	19.970	44.710	23.900	28.110	25.110	335.160
紙くず	0.040	0.000	0.090	17.890	46.060	31.180	13.080	0.000	0.000	0.000	0.600	0.000	108.940
繊維くず	1.440	4.310	5.140	1.372	1.190	3.700	1.940	1.170	1.200	4.250	5.967	1.100	32.779
ガラス陶磁器くず	9.806	17.018	9.113	6.577	8.630	7.503	15.595	8.901	23.017	7.468	7.201	14.668	135.497
金属くず	2.262	6.585	4.902	0.981	6.058	2.339	9.038	8.869	9.298	5.611	7.275	1.831	65.049
医療系	14.999	14.493	13.417	4.223	4.155	4.692	4.954	4.814	5.497	4.980	4.792	5.115	88.111
感染性	4.267	4.422	5.208	4.120	4.838	4.539	4.934	5.380	4.989	4.935	5.081	4.771	57.484
動植物性残さ	31.505	30.835	24.788	20.065	13.620	14.845	23.275	17.790	24.264	16.250	16.508	20.576	254.301
廃油	9.843	13.845	16.000	1.280	10.947	14.575	10.370	10.000	10.980	18.185	13.480	9.005	138.510
廃酸	0.525	0.305	0.332	0.325	0.895	0.215	0.485	0.401	0.285	0.275	0.185	0.220	4.448
廃アルカリ	0.040	0.000	0.000	0.000	0.000	0.020	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.060
汚泥	3.273	3.280	5.230	4.905	7.990	5.850	3.135	21.355	20.047	6.850	4.181	2.470	88.568
燃え殻	0.000	0.150	3.310	4.280	1.350	0.450	0.150	0.000	0.420	0.150	1.025	2.550	13.835
石膏ボード	2.380	1.480	0.740	0.000	0.000	0.000	0.190	0.400	0.570	0.000	0.000	0.000	5.760
混合廃棄物											2.640	0.000	2.640
計	203.441	230.293	240.115	218.330	267.950	288.852	219.746	200.737	280.089	214.355	283.541	213.274	2,800.723
合計	2,800.723												

8. 産業廃棄物処理施設の維持管理状況

(1) 冷却施設、排ガス処理設備に堆積したばいじんを除去した日

年	ばいじんを除去した日
平成30年度	1 / 4, 5 / 5, 8 / 15
平成29年度	1 / 4, 5 / 5, 8 / 15
平成28年	1 / 4, 5 / 6, 8 / 13

(2) 改質ガス中の硫黄酸化物、ばいじん、塩化水素及び硫化水素並びにダイオキシン類の濃度の測定記録

【平成30年度】

採取位置	排ガス採取日	結果が得られた日	測定結果				
			ダイオキシン類 Ng-TEQ/m ³	硫黄酸化物 ppm	ばいじん g/m ³	塩化水素 mg/m ³	窒素酸化物 ppm
焼却炉 煙突測定口	6月26日	7月11日	—	1未満	0.0093	6.7	210
	11月28日	12月10日	0.81	1.1	0.011	5.2	174

【平成29年度】

採取位置	排ガス採取日	結果が得られた日	測定結果				
			ダイオキシン類 Ng-TEQ/m ³	硫黄酸化物 ppm	ばいじん g/m ³	塩化水素 mg/m ³	窒素酸化物 ppm
焼却炉 煙突測定口	6月20日	6月26日	—	1未満	0.0021	6.1	210
	10月6日	10月26日	1.2	2.0	0.0029	2.5	270

【平成28年度】

採取位置	排ガス採取日	結果が得られた日	測定結果				
			ダイオキシン類 Ng-TEQ/m ³	硫黄酸化物 ppm	ばいじん g/m ³	塩化水素 mg/m ³	窒素酸化物 ppm
焼却炉 煙突測定口	5月13日	5月19日	—	2.8	0.0065	8.1	230
	10月20日	11月10日	1.7	1未満	0.0021	3未満	250

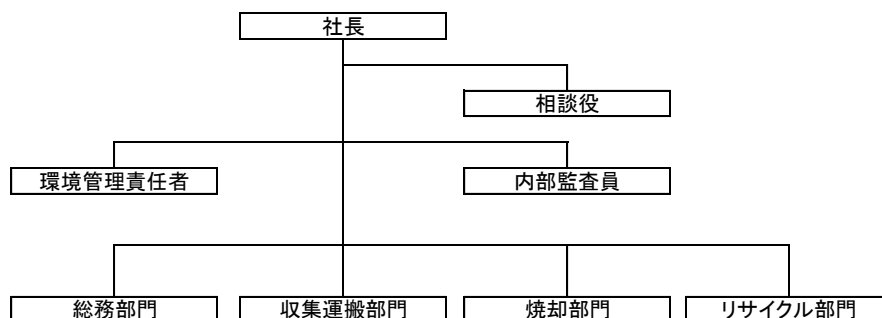
9. 処理料金の提示方法

(1) 収集運搬料金については、産業廃棄物の種類、量、運搬距離等によって計算します。

(2) 処分料金については、産業廃棄物の種類、量、処理方法等によって計算します。

ご相談により個別にお見積り致します。TEL 0823-87-0538

10. 業務を所掌する組織・人員配置



11. 事業場の公開の有無・公開頻度

弊社施設は、事前にご連絡を頂いた場合に限り、見学を受け付けます。

II 環境活動報告

1. 環境目標・実績

温室効果ガス等の削減

項目	年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度		平成 31年度	平成 32年度	平成 33年度
		(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
二酸化炭素 排出量	総量 (t-CO ₂)	5,518	5,251	4,521	4,476	5,881	5,822	5,822	5,822
	削減量 (t-CO ₂)		267	730	45	-1,360	59	0	0
	総処分量 当たり(t- co ₂ /t)	1.27	1.29	1.15	1.14	1.38	1.37	1.37	1.37

【取り組み内容】

当社では、焼却処理に起因して排出される温室効果ガスの削減を図るため、受け入れた廃棄物を可能な限りリサイクルしています。

また、廃棄物の収集運搬業務をはじめ車両を用いた業務が多くエネルギーの消費により温室効果ガスの主な発生源となっているため、エコドライブによる車両燃費の向上に取り組んでいます。各ドライバーは、「環境管理手順書」に基づきエコドライブを励行するとともに、車両の燃費悪化に影響を与える項目を日常点検しています。

2. 環境活動計画の取組結果

(1) 車両燃費 (km/L)

	町内収集	中距離	長距離
平成 30 年度	5.5	5.1	3.5
平成 29 年度	5.6	4.8	3.7
平成 28 年度	5.5	4.7	4.0

(2) 社員教育

環境マネジメントシステム年間計画に基づき、産業廃棄物の適正処理、温室効果ガス発生抑制等についての教育を行っています。

H30.4.11 環境関連法規制等（順守義務）の概要

H30.4.11 平成 30 年度環境目的・目標及び実施計画について
(温室効果ガス発生抑制に関する目標を含む)

H30.8.28 エコドライブ研修

H30.10.21 環境負荷低減につながる車両点検のポイント

(3) 緊急事態への準備・対応

環境マネジメントシステム年間計画に基づき、緊急事態を特定し、対応訓練を行っています。

H30.11.21 自衛消防訓練（初期消火、通報訓練、避難訓練）

(4) 地域貢献活動

地域の美化に協力し、日常的に自主的な清掃活動を行っています。

3. 第三者認証

当社は ISO14001：2015 を取得し毎年の維持・更新審査を経て認証を継続しております。

4. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日の間において、法違反及び訴訟等の発生はございません。